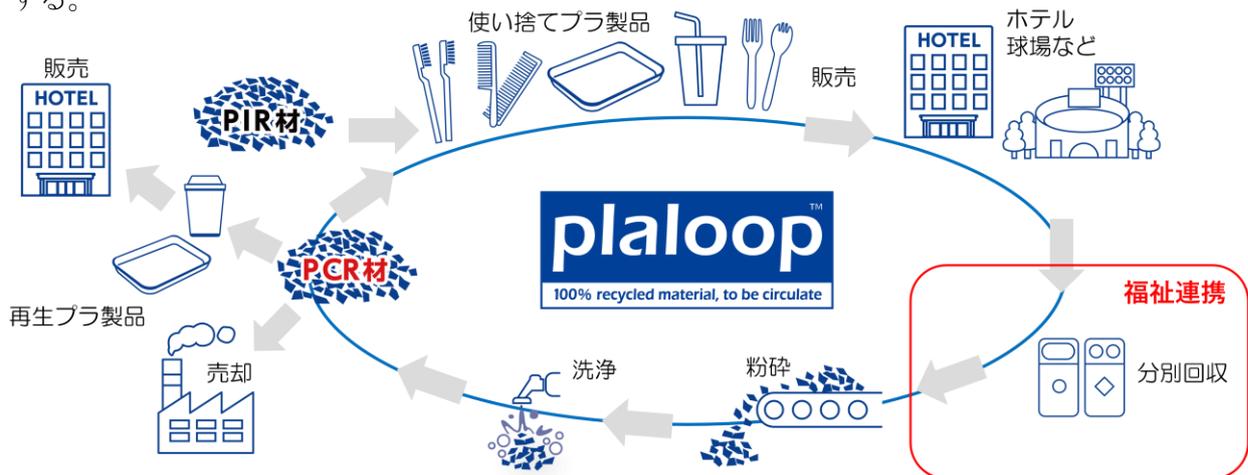


令和6年度「海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金」の採択事業のイメージ図

① アサヒユウアス(株) 【ひろしま plaloop～ホテルの使い捨てアメニティの循環プラットフォームの構築～】

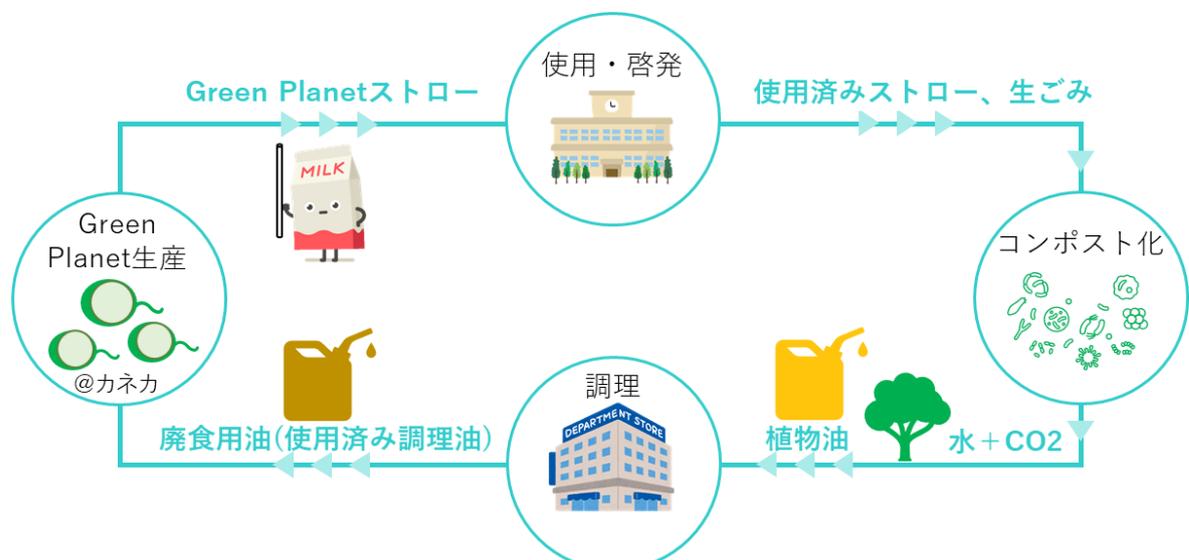
- ・ホテルアメニティ（歯ブラシ等）を単一素材の 100%リサイクルプラスチックで製造し、使用後のアメニティを回収・再生処理することで、PCR（Post-Consumer Recycled）材*として再活用する。*PCR材：消費者に使用されたのち再生されたリサイクルプラスチック
- ・アメニティ含む様々な製品に循環利用することで、プラスチック素材が循環する社会を目指す。ke 回収・分別作業において福祉連携を行うことで、障がい者の社会参画と多様な働き方を創出する。



出典：アサヒユウアス(株) 資料

② ㈱カネカ 【ワンウェイプラスチックの海洋生分解性素材への代替と処理モデルの構築】

- ・小中学校や百貨店等で使用されるワンウェイプラスチック（ストロー等）を、広島県内の使用済み食用油を原料の一部に使用した海洋生分解性素材（カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®）へ転換する。
- ・使用後の処理としては焼却や生分解処理、リサイクルなど多様に対応可能だが、本事業では環境学習との親和性が高い、小学校内で生ごみをストローとともにコンポスト化する、オンサイト型の生分解処理モデルを検証し、児童・市民への啓発活動を併せて行う。



出典：㈱カネカ 資料

③ ㈱ヤマサキ 【日用品の容器素材の紙代替化によるワンウェイプラスチックの削減】

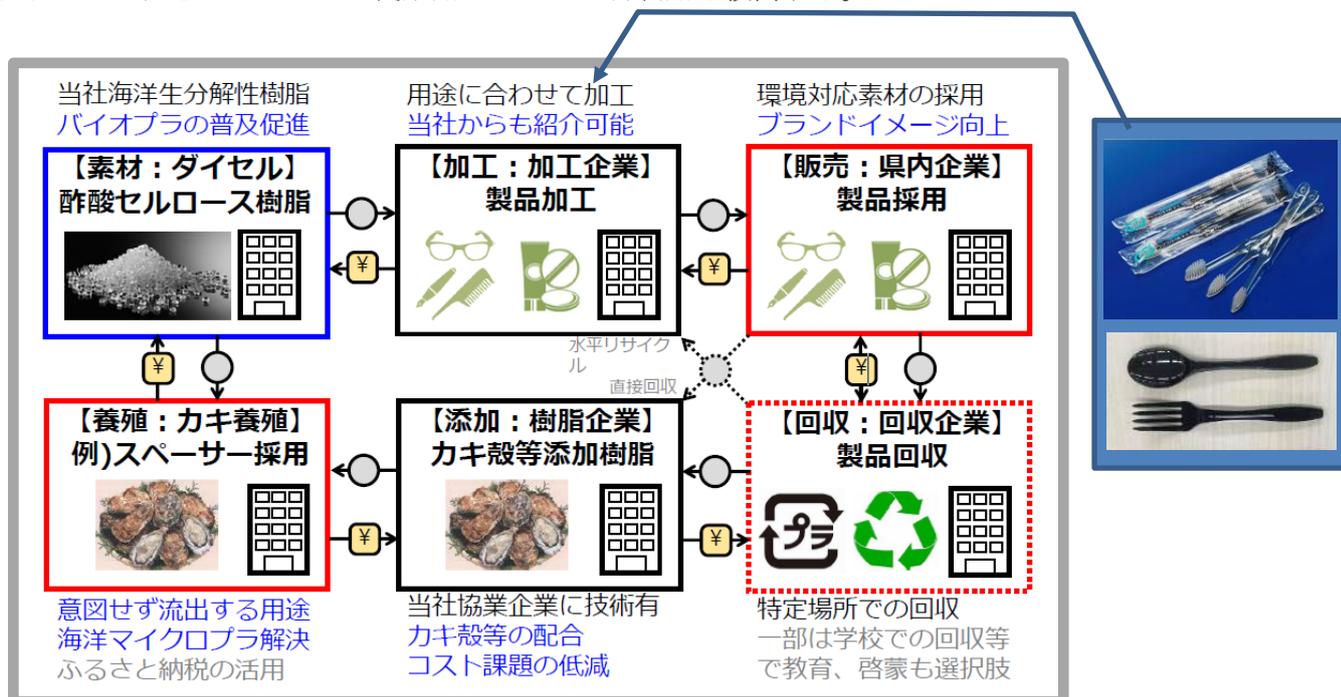
- ・ボディーソープやシャンプー等のプラスチックボトル製品を、紙製容器「キューブパック」に置き換え、プラスチック使用量の削減とごみ減容を目指す。
- ・紙製容器の全面印刷可能な特性を活かし、海洋プラスチックの問題やGSHIPの目指す姿を印字することで、課題解決の啓発活動にいかす。



出典：㈱ヤマサキ、TOPPAN(株) 資料

④ ㈱ダイセル 【海洋生分解性プラスチックによる代替素材製品の普及促進・リサイクル】

「瀬戸内海における海洋プラスチックごみ削減」を共通目的とし、カキ養殖事業者含む企業コンソーシアムを結成、バイオマスかつ海洋生分解性を持つ酢酸セルロース樹脂（CAFBL0®）を使用したカキ養殖用パイプの実証検証を進める。さらに新プラ法指定12品目への採用を推進、CAFBL0®のリサイクル性を生かしたカキ養殖用パイプへの再利用を検討する。



出典：㈱ダイセル 資料

⑤ 三菱ケミカル㈱ 【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】

「ペットボトルラベルの水平リサイクルが実装された社会」の実現に向け、今年度は回収量を増やす施策として、工場・事業所など新たな回収ルートを検証、選別工程の多段化や複数方式の組み合わせによる精度アップに加えて、脱墨*技術向上についても効果を検証する。また、ペットボトルの3分別の定着のため市民への啓発活動も継続して実施する。

*脱墨：印刷されたフィルムからインキを取り除くこと

実証事業イメージ

<回収>

- ①事業所等でシュリンクラベルを回収
- ↓
- ②光学選別（PETの純度を高める）
- ↓
- ③脱墨、フラフ化
- ↓
- ④色彩選別（脱墨不足フラフの除去）
- ↓
- ⑤フィルム化製膜可否の検証
- ↓
- ⑥ラベル加工可否の検証

<啓発活動> 小学校、事業所等



①回収（協力事業所・事務所等）



②選別（光学+風選別）



③脱墨・フラフ化



④色彩選別



⑥ラベル加工



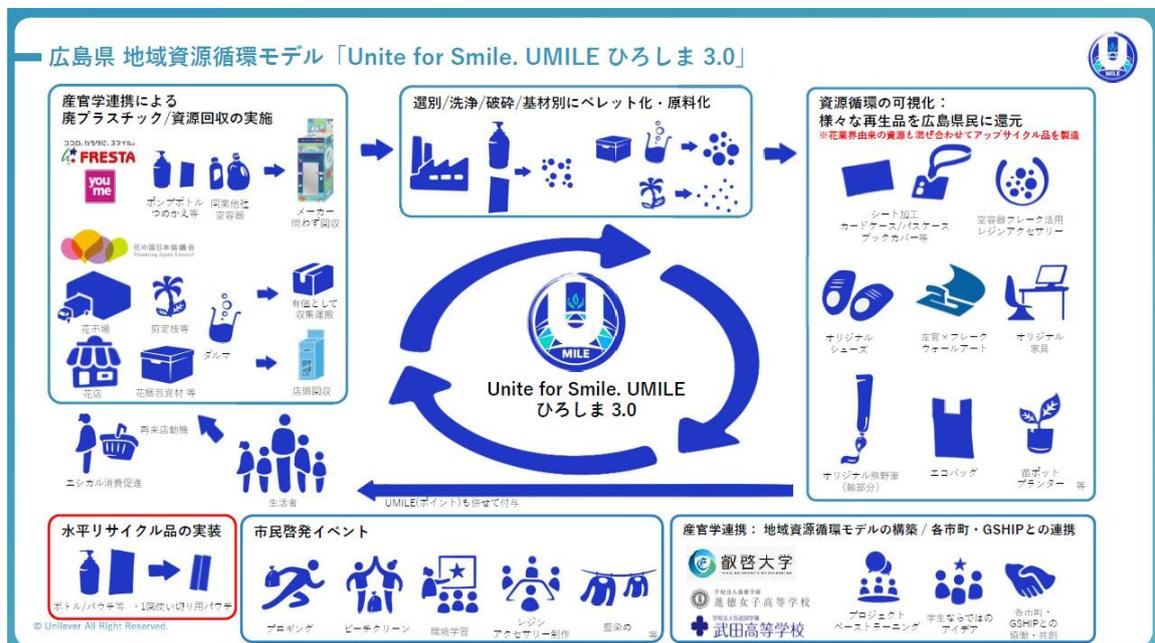
⑤フィルム化



出典：三菱ケミカル㈱ 資料

⑥ ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱ 【プラスチック空容器回収プログラム等による資源循環モデルの構築】

昨年度、メーカー不問としたシャンプー等空容器の回収スキームを、スーパー等の小売流通業界と連携して拡大するとともに、新たに花き業界と協同し、花店等から廃棄される廃プラスチック等も併せて回収・リサイクルすることで、本県における、業界の垣根を超えた先進的な地域資源循環モデルを構築する。また、アップサイクル品の市場投入を進めるとともに、水平リサイクル品（軟包装パウチ）の実装化に向けた取組を進める。



出典：ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱ 資料